

大日向中学校の開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 大日向中学校 校長 長沼 豊
- 2 位置 南佐久郡佐久穂町大日向字上滝平 1110 番地 1
- 3 設置者 学校法人茂来学園 理事長 中正雄一
- 4 学則定員 90 人
- 5 開校年月日 令和 4 年 4 月 1 日

1 生徒数の状況

○生徒数に関するデータ(5月1日時点) (単位:人)

	1年	2年	3年	合計	申請時計画	定員
R4						
R5						
うち新入生						
(応募者数)						
県外出身者						

- ・小学校からの内部進学と外部からの入学生の受け入れを行っている。
- ・開校初年度に続き、今年度も当初の想定より入学者が少なかった。
- ・次年度については、内部進学の人数が増え、また外部からの入学希望者も昨年度より増えているため生徒数は増加する見込み。

2 教職員の状況

(単位:人)

		校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	事務職員	合計
計画	計	1	1	5	4	1	2	14
	専任	0	1	1	3	1	0	6
	兼任	1	0	4	1	0	2	8
R5	計	1	1	6	4	1	0	13
	専任	1	1	4	3	1	0	10
	兼任	0	0	2	1	0	0	3
差	計	0	0	1	0	0	▲2	▲1
	専任	1	0	3	0	0	0	4
	兼任	▲1	0	▲2	0	0	▲2	▲5

- ・教諭は計画時より 1 名多い状況。
- ・生徒数が少ないので、一人ひとりへのきめ細かい対応ができる体制となっている。

3 教育の特徴等

- ・小学校同様、中学校でもイェナプランの理念を基盤に置きつつ、カリキュラムを編成している。
(生徒が自分で立てた計画に沿って、各自が選択した方法で学習)
- ・学習単位は、一部教科を除きの異年齢集団での学習

- ・卒業後の進路希望は、県内の公立高校や県外私立高校の希望がある。
- ・中学校として、ブロックアワー（自立学習・基礎学習）やワールドオリエンテーション（協働学習・総合学習）の取り組みを高いレベルで行っていくのかが今後の課題。

4 収支決算

		収入 A	支出 B	当年度収支差額 $C = A - B$
令和4年度	申請時の 計 画			
	決 算			